

# コンクリート面及びALCパネル面

## 7章9節:つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) ノボクリーンビュー艶有(ゼロVOC仕様)

公共仕様No.  
DNT-改修・9-2-01

### 使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラー	ノボクリーンシーラー	F☆☆☆☆	水道水
2 JIS K 5660 つや有合成樹脂エマルジョンペイント	ノボクリーンビュー艶有	F☆☆☆☆	水道水

### 塗装仕様

表7.2.5 コンクリート面及びALCパネル面の下地調整【RA種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 既存塗膜の除去	-			ディスクサンダー、スクレーパー等により、全面除去する。
2 汚れ、付着物除去	-			素地を傷付けないようにワイヤーブラシ等により、除去する。
3 ひび割れ部の補修	-			特記による。
4 下地調整塗り	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1又はC-2	全面に塗り付けて平滑にする。
5 研磨紙ざり	研磨紙P120~220			乾燥後、表面を平らに研磨する。
6 パテしごき	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1	全面にパテをしごき取り平滑にする。
	JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	
7 研磨紙ざり	研磨紙P120~220			乾燥後、全面を平らに研磨する。

- (注) 1.ALCパネル面の場合は、工程4の前に合成樹脂エマルジョンシーラーを全面に塗付ける。  
 2.合成樹脂エマルジョンパテは、外部に用いない。  
 3.工程4の建築用下地調整塗材のC-1、C-2の使い分けは、4.6.4[既存コンクリート打放し仕上げ外壁、既存モルタル塗り仕上げ外壁等の下地調整](1)及び(3)による。  
 4.新規に塗装を行う場合は、RA種とし、工程1に代えて素地を十分乾燥させて、工程3を省略する。

表7.9.1 コンクリート面及びALCパネル面つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り【A種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下塗り	ノボクリーン シーラー	白	-	10~20	刷毛 ローラー	0.07	2時間以上 1ヶ月以内
				20~30	スプレー		
2 中塗り (1回目)	ノボクリーン ビュー艶有	各色	-	5~10	刷毛 ローラー	0.10	2時間以上
				10~20	スプレー		
3 研磨紙ざり	研磨紙P220~240						清掃後
4 中塗り (2回目)	ノボクリーン ビュー艶有	各色	-	5~10	刷毛 ローラー	0.10	2時間以上
				10~20	スプレー		
5 上塗り	ノボクリーン ビュー艶有	各色	-	5~10	刷毛 ローラー	0.10	-
				10~20	スプレー		

- (注) 1.新規に塗る場合は、A種又はB種とする。  
 2.押出成形セメント板面の下地調整は、表7.2.6によるRB種又はRC種とする。  
 7.2.6 コンクリート面及びALCパネル面の下地調整  
 コンクリート面及びALCパネル面の下地調整は、表7.2.5により、種別は特記による。  
 特記がなければ、RB種とする。  
 7.9.2 コンクリート面及びALCパネル面つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り  
 (a)つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りは表7.9.1により、種別は特記による。特記がなければB種とする。  
 なお、天井面等の見上げ部分は、工程3を省略する。  
 (b)塗替えの場合のしみ止めは、特記による。特記がなければ、種別がB種及びC種の場合は、工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする。  
 なお、しみ止めシーラーは、塗料製造所の指定するものとする。

#### 注意事項

- \* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。  
 そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。  
 \* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。